

授業改善書

科目名	日本文学史概論（古典）
担当者	森田 直美

授業の概要

日本古典文学史を、主要作品の解説と味読を通して概観した。
具体的には、各回に一作品（回によっては二作品）取り上げ、作品内容・作者について・文体や表現の特徴・時代背景等を解説した。さらにいずれの回も、作品の一部を講読し、解説内容を実感できる授業作りを目指した。

授業の問題点

アンケート項目のうち、「質問や発言をしましたか」が 3.29 と、他の項目と比較して数値が低かった。

学生の授業満足度

「授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか」、「全体的に振り返って授業に満足できましたか」の項目は、いずれも 4.60 であった。よって、学生の授業満足度という観点では、一定の評価を得ることができたと考える。

授業改善の課題と方策

問題点に挙げた、質問・発言の促進が目下の課題である。今後に向けて、以下のような改善策を考えている。

- ・ 授業時に、質問や発言を促す時間を意識的に作る。
- ・ 時間があればグループでの討論・発表などを導入し、学生が発言しやすい環境を作る。
- ・ コメントカードの質問欄が充実するよう、学生に意欲的に書かせる工夫をする。

その他

今期は、学生による評価では一定の満足度を得ることができたが、全 15 回の授業内容には反省すべき点が多々あった（授業運びやプリント内容、板書内容など）。今回の反省を踏まえて、より内容の充実した授業ができるよう、細かい点を改善していきたい。